

2011年7月5日
東日本旅客鉄道株式会社

東日本エリアの観光と産業の復興を応援！

「みちのく観光物産市」、「群馬産直市」、「応援工芸市」、「応援物産展」を開催いたします。



JR東日本グループでは、東日本大震災や風評による被害に加え、旅行需要の冷え込みなど、地域産業が深刻な打撃を受けている中、東日本エリアの観光と産業の復興を応援するため、7月から首都圏のエキナカ、駅ビルにて、様々な観光PRや物産市を開催します。

観光復興については、東北の夏祭りや「群馬デスティネーションキャンペーン」の開催に伴う観光情報などをご紹介する「みちのく観光物産市」と「群馬産直市」を実施します。

産業復興については、被災地の伝統工芸品や東日本エリアの特産品などを販売する「応援工芸市」と「応援物産展」を実施します。

1. 観光復興を応援

(1)「みちのく観光物産市」

東北の夏祭りの紹介や各地の特産品の販売を山手線の主要6駅にて実施し、首都圏の方々に「東北の元気」を伝えます。6駅を回ると各県の特産品が当たるスタンプラリーの開催、伝統芸能の披露の他、マスコットキャラクターも登場します。



(2)「群馬産直市」

「群馬デスティネーションキャンペーン(2011.7.1-9.30)」の開催にあわせ、観光PRブースで「群馬の涼」をテーマに、魅力的な観光地や美味しいものをご案内します。また、群馬県の旬な野菜、果物、スイーツ、地酒や加工品等を販売します。

2. 産業復興を応援

(1)「応援工芸市」

東日本大震災の影響により、窯の倒壊や作品の破損、観光客の減少による販売不振等の被害を受けている岩手県、宮城県、福島県、茨城県等の伝統工芸を応援するため「日常に伝統工芸品のある生活」をテーマに、各地域の工芸品を販売します。また、それら工芸品に盛り付けるに相応しい各地の特産品や名酒等も販売します。

その他、伝統工芸品を育んできた各地域の自然や歴史の紹介や観光パンフレットの配布等を行います。



(2)「応援物産展」

東日本大震災の影響に伴う観光客、出張客の激減により、売上減少を余儀なくされている各地域の特産品等、その地域ならではの商品を取り揃え、販売します。



■「みちのく観光物産市」詳細

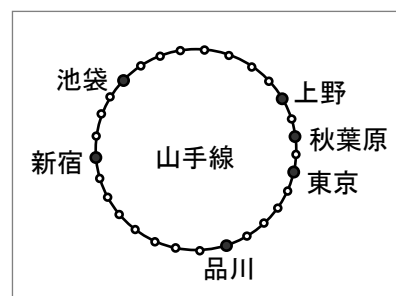
- ①開催日時 7月8日(金) 11:00～20:00
 9日(土) 10:00～19:00
 10日(日) 10:00～17:00

- ②開催会場 青森県…秋葉原駅 改札内1階コンコース
 岩手県…品川駅 中央改札内京急乗換口前
 秋田県…上野駅 中央改札グランドコンコース
 宮城県…池袋駅 中央改札外西口方面コンコース
 山形県…新宿駅 東口改札外みどりの窓口周辺
 福島県…東京駅 新幹線南乗換口改札前 計6箇所

- ③主催 東日本旅客鉄道株式会社、東北観光推進機構
 ④共催 青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県
 国土交通省東北運輸局

- ⑤運営会社 株式会社 JR 東日本リテールネット

- ⑥内容 津軽三味線演奏、さんさ踊り・なまはげ・尾花沢の笠まわし披露、仙台七夕祭りの折鶴・短冊コーナーの設置、会津民芸品「赤ベコ」展示、ご当地キャラクターによる東北のおすすめ観光情報PRのほか、東北の特産品、旬の味覚の販売を行います。



<開催駅>

■「群馬産直市」詳細

- ①開催日時 7月21日(木)～23日(土)
 11:00～20:00 (最終日は17:00まで)

- ②開催会場 上野駅 中央改札グランドコンコース

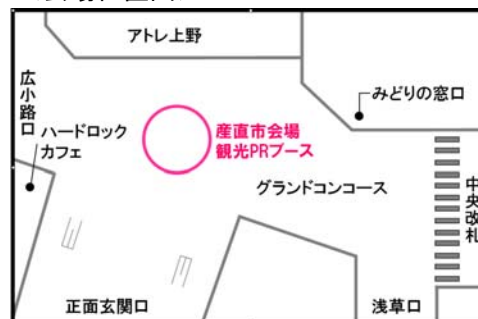
- ③主催 東日本旅客鉄道株式会社

- ④後援 群馬県

- ⑤運営会社 株式会社紀ノ國屋

- ⑥内容 「群馬デスティネーションキャンペーン(2011.7.1-9.30)」中のSLイベント等の情報やさまざまな体験メニューの紹介、群馬の野菜等の販売を行います。

<会場位置図>

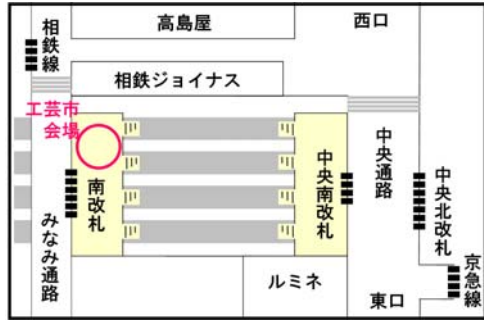


<産直市イメージ>



<観光PRブースイメージ>

<会場位置図>



■「応援工芸市」詳細

- ①開催日時 7月12日(火)～16日(土)
11:00～19:00 (最終日は17:00まで)
- ②開催会場 横浜駅 南改札内
- ③主催 東日本旅客鉄道株式会社
- ④運営会社 株式会社ジェイアール東日本商事
- ⑤内容 「雄勝硯」や「笠間焼」等の歴史や伝統のある一品から日常使いできるものまで、さまざまな工芸品を紹介し、販売します。また、各地の特産品や名酒等もあわせて販売する他、各地域の自然や歴史を紹介します。

<「応援工芸市」出品予定工芸品>

県名	工芸品名(分類)	主な生産地域	詳細
岩手県	南部鉄器 (金工品)	盛岡市、奥州市	17世紀初め、南部藩が、盛岡に京都から茶釜職人を招いたのが始まり。特徴は「質実剛健」「丈夫で長持ち」。また、様々な絵柄や美しく並んだ粒が描き出す「霰」の文様は、作る人々の心の機微と温もりを感じさせてくれる。
	南部系こけし (人形)	花巻市	木肌が白く固いコサンバラ(アオハダ)と言う良材を使い、首がはめこみで頭がくらくらと動く。昔は「キックラボッコ」と言い、現在は「キナキナ」と表現される全国的でも南部系だけの特徴。
宮城県	おがつずり 雄勝硯 (文具)	石巻市	職人の腕一つで丹念に彫り上げられる硯は、室町時代から600年の歴史と伝統を誇る。東日本大震災による津波で、全ての硯業者は工房が流失するなどの被害を受けた。
	津山木工品 (木工品)	とめしつやまちょう 登米市津山町	津山町特産の杉材を使った集成材の木工品。杉の木目が矢羽模様のように見えるところが特徴。暮らしを彩る多くの木工品を製作しているが、色や木目がそれぞれ微妙に異なり、同じ商品は2つとない。
福島県	おおぼりそうまやき 大堀相馬焼 (陶磁器)	ふたばぐんみなえまち 双葉郡浪江町	「青ひび」と呼ばれる器全体をおおっている模様が、作品を親しみやすいものになっている。東日本大震災では壊滅的被害を受け、同地域は特別警戒区域のため立ち入ることができない。※展示のみ
	会津塗 (漆器)	会津若松市、 喜多方市他	江戸時代の始め会津藩が、漆の木を植えることを奨励したのが始まり。日本人好みの縁起の良い図案や、多彩な加飾が特徴で、「鉄錆塗」「金虫喰塗」「木地呂塗」等の多彩の塗りの技法が見どころ。
茨城県	かさまやき 笠間焼 (陶磁器)	笠間市、水戸市、 石岡市他	個性的・新しい感じのするものから伝統的なものまで、色々な感性の作品が共存する産地として注目されている。東日本大震災では、商品の破損、窯などの設備が全半壊するなどの被害を受けた。
	せつそん 雪村うちわ (その他)	常陸太田市	水戸光圀も愛用したといわれる四角形のうちわで、室町時代の水墨画家・雪村が創始。できあがるまでの33工程はすべて手作業で行われる。現在ただ1人の職人により製作されている。

その他、栃木県の益子焼や東日本エリアのこけし、手ぬぐい、木杓子等を販売します。



南部鉄器



南部系こけし



津山木工品



雄勝硯



大堀相馬焼



会津塗



笠間焼



雪村うちわ

<出品予定工芸品イメージ>

■「応援物産展」詳細

①開催日時 7月

②開催会場 首都圏の駅ビル(グランデュオ立川、アトレ秋葉原等を予定)

対象県	日時	会場	主な販売商品
秋田県	7/11(月)~7/15(金)	グランデュオ立川	きりたんぽ、稲庭うどん、秋田諸越、しとぎ豆がき等
福島県	7/26(火)~7/30(土)	アトレ秋葉原	薄皮饅頭、ゆべし、ままだおる等

※営業時間は各駅ビルに準じます。



<応援物産展イメージ>



きりたんぽ



しとぎ豆がき



薄皮饅頭



ゆべし

<販売商品イメージ>

(これらの催しは、対象地域を拡大・変更して、8月以降も実施していく予定です。)

※内容は変更になる場合がございます。写真はイメージです。